

第 66 年度（平成 31 年度）事業報告

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

第 66 年度（平成 31 年度）事業報告

（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

平成 31 年度の研究助成金として、研究助成（全国対象 19 件 950 万円）、および特別研究助成（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象 4 件 1,000 万円）、計 23 件 1,950 万円を交付した。

1) 研究助成（50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：4 件、 新規：5 件

計 19 件 計 950 万円

2) 特別研究助成

（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象、250 万円/件・年）：

2 年目：2 件、 新規：2 件

計 4 件 計 1,000 万円

総計 23 件 計 1,950 万円を交付した

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 令和 2 年度助成事業対象者の募集および審査・選考

1) 令和 2 年度特別研究助成

（1）募集テーマ等の決定

令和元年 5 月 17 日の第 1 回選考委員会・企画会議にて、令和 2 年度特別研究助成の募集テーマの選考および募集要項等の審議を行い、募集テーマを「患者満足度の高い治療法を確立するための独創的創薬研究」に決定した。また、募集方法については、募集要項を大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示すること、また、募集期間を令和元年 9 月 1 日から 10 月 31 日とすることを決定した。これらについて令和元年 5 月 23 日に選考委員会議長から理事長へ答申し、同年 6 月 5 日開催の理事会にて承認決した。

(2) 募集および審査選考

令和元年9月1日から10月31日までの募集期間に16件の応募があった。これらについて同年11月7日に選考委員長から各委員に第一次審査として書面審査を依頼し、令和2年1月31日開催の第2回選考委員会にて書面審査の結果を基に審議し、令和2年度助成者の選考等を行い、3名を助成者候補として決定した。結果について、令和2年2月7日に選考委員長から理事長へ答申し、令和2年3月11日開催の理事会にて承認可決した。

2) 令和2年度研究助成

(1) 募集および第一次審査

平成31年3月26日理事長より9名の選出委員に令和2年度研究助成の候補者の選出を依頼し、大阪大学、北海道大学、富山大学、国立医薬品食品衛生研究所、徳島大学、岐阜薬科大学、福井大学等、全国から8名の候補者が選出された。令和元年5月17日の第1回選考委員会・企画会議にてこれらの候補者の第一次申請書の審査を研究業績および当財団の目的に適う人物であるか等以下のチェックポイントの観点から審議を行った。

- ・優秀な素質を有するが、財源不足等のため研究の継続が困難である研究者
- ・他からの助成を受けにくい薬学等の基礎研究を行なっている研究者
- ・特に若手の独立前後で将来有望な研究者

審議の結果、5名を第二次審査の候補者として選定した。

以上の結果について、令和元年5月23日に選考委員会議長から理事長へ答申し、同年6月5日開催の理事会にて承認可決した。これら5名について同年8月6日に理事長より各選出委員に第二次申請書の作成を依頼した。

(2) 第二次審査及び選考

第二次申請書の5名について令和2年1月31日開催の第2回選考委員会にて審議し、この5名を令和2年度研究助成の被助成者候補とすることを決定した。以上の結果について、令和2年2月7日に選考委員長から理事長へ答申した。

令和2年3月11日開催の理事会にて、各候補者の選出委員より研究概要及びチェックシート【別紙2】の内容、また当財団の目的に適った研究者であること等詳細に説明し質疑応答を行ったのち、理事会にて慎重に審議してこれら5名について令和2年度研究助成対象者として承認可決した。

3. 研究成果報告【別紙3】

第38回研究助成発表会を令和元年7月16日、塩野義製薬株式会社医薬研究センター（大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号）において開催した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：平成 31 年 4 月 26 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 65 年度（平成 30 年度）事業報告の件

第 65 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）事業報告書について原案通り承認可決した。

議題 3：第 65 年度（平成 30 年度）決算書承認の件

第 65 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）決算について原案通り承認可決した。

(2) 令和元年 6 月 5 日

議題 1：理事長（代表理事）選定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 65 年度（平成 30 年度）定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

議題 3：令和 2 年度特別研究助成募集テーマ決定の件

原案通り、令和 2 年度特別研究助成の募集テーマを「患者満足度の高い治療法を確立するための独創的創薬研究」とすること等、承認可決した。

議題 4：令和 2 年度研究助成第一次審査の件

令和元年 5 月 17 日開催の選考委員会の決議通り、研究助成 5 名を原案通り承認可決した。

議題 5：特定費用準備資金設置の件

原案通り承認可決した。

議題 6：国際化学及び国際生物学オリンピックへの寄付の件

原案通り承認可決した。

議題 7：研究助成について

今後の研究助成について議論を行い、研究助成は採択数 5 件を維持し、特別研究助成は採択数を増やすことを検討することになった。

報告事項 1：理事長は平成 31 年度 1 度目の業務執行状況報告を行なった。

(3) 書面開催：令和元年 12 月 25 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：「基本財産及び特定資産管理規程」改定の件

原案通り承認可決した。

(4) 令和2年3月11日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田1丁目8番8号）において開催）

議題1：平成31年度予算修正の件

原案通り承認可決した。

議題2：70周年事業準備資金設置の件

原案通り承認可決した。

議題3：第67年度（令和2年度）事業計画承認の件

第67年度（令和2年度）事業計画として研究助成金の交付件数を24件とすること及び令和2年7月3日に第39回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題4：第67年度（令和2年度）収支予算承認の件

第67年度（令和2年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題5：他会計振替の件

原案通り承認可決した。

議題6：令和2年度特別研究助成 受領者決定の件

令和2年1月31日開催の選考委員会の決議通り、令和2年度新規助成者について特別研究助成3名を原案通り承認可決した。

議題7：令和2年度研究助成 受領者決定の件

令和2年1月31日開催の選考委員会の決議通り、研究助成5名についても慎重審議の上、原案通り承認可決した。

議題8：規程改定及び新設の件

「選考委員会規程」及び「企画会議規程」の改定及び「学術委員規程」の新設を原案通り承認可決した。

議題9：選考委員改選及び委員長選定の件

原案通り承認可決した。

議題10：助成事業拡大及び選考体制整備について

特別研究助成の採択数を増やすにあたり、募集地域の拡大について議論した。また選考体制の整備の必要性から選考委員の増員及び専門委員の選任についても議論を行った。

報告事項1：役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程（改定）

報告事項2：理事長は平成31年度2度目の業務執行状況報告を行なった。

2. 評議員会の決議事項

(1) 令和元年6月5日定時評議員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田1丁目8番8号）において開催）

議題1：議長選任の件

互選により選任した。

議題 2：議事録署名人選任の件

互選により 2 名を選任した。

議題 3：第 65 年度（平成 30 年度）事業報告の件

第 65 年度（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）事業報告書について、原案通り承認可決した。

議題 4：第 65 年度（平成 30 年度）決算書承認の件

第 65 年度（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録について原案通り承認可決した。

議題 5：理事・監事選任の件

原案通り承認可決した。

議題 6：評議員選任の件

原案通り承認可決した。

(2) 令和 2 年 3 月 11 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：議長選任の件

互選により選任した。

議題 2：議事録署名人選任の件

互選により 2 名を選任した。

議題 3：平成 31 年度予算修正の件

原案通り承認可決した。

議題 4：70 周年事業準備資金設置の件

原案通り承認可決した。

議題 5：第 67 年度（令和 2 年度）事業計画承認の件

第 67 年度（令和 2 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 24 件とすること及び令和 2 年 7 月 3 日に第 39 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 6：第 67 年度（令和 2 年度）収支予算承認の件

第 67 年度（令和 2 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題 7：他会計振替の件

原案通り承認可決した。

議題 8：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：令和 2 年度特別研究助成・研究助成 受領者決定の件

報告事項 2：規程改定及び新設の件

報告事項 3：選考委員改選及び委員長選定の件

報告事項 4：助成事業拡大及び選考体制整備について

3. 報告事項

(1) 平成 31 年 4 月 23 日

大阪市長宛に平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの「法人市民税減免申請書」を提出した。

(2) 令和元年 6 月 3 日

大阪府中央府税事務所長より令和元年 5 月 31 日付の、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの「法人府民税の均等割減免通知書」を受領した。

(3) 令和元年 6 月 11 日

大阪市長より令和元年 6 月 6 日付「法人市民税減免通知書」を受領した。

(4) 令和元年 6 月 14 日

行政庁（内閣府）へ第 65 年度（平成 30 年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(5) 令和元年 6 月 19 日

行政庁（内閣府）より修正可能事項通知があり、第 65 年度（平成 30 年度）事業報告書の修正を提出した。

(6) 令和元年 8 月 26 日

「第 53 回国際化学オリンピック日本大会 2021」及び「第 31 回国際生物学オリンピック 2020 長崎大会」それぞれに 100 万円の寄附を行った。

(7) 令和元年 9 月 11 日

平成 30 年度特別研究助成金受領者より、心身不調のため研究の継続が不可能の申し出があり、未使用の助成金（1,999,818 円）の返還があった。

(8) 令和 2 年 3 月 25 日

行政庁（内閣府）へ令和 2 年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

(9) 令和 2 年 3 月 25 日

行政庁（内閣府）へ「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更届出を提出した。

以上

平成 31 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1件 50万円×19件= 計 950万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者	研究テーマ
4年目	金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	金田 勝幸	ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明
4年目	慶應義塾大学薬学部	大江 知之	肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製
4年目	静岡県立大学食品栄養科学部	増田 修一	ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析
4年目	香川大学医学部薬理学	西山 成	生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発
4年目	埼玉大学大学院理工学研究科	松岡 浩司	超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出
3年目	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファン系の面不斉を利用した新規触媒の開発
3年目	大阪大学大学院工学研究科	鳶巣 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
3年目	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化化合物の創製
3年目	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
3年目	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価
2年目	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
2年目	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
2年目	京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
2年目	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
新規	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
新規	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関する因子の検討
新規	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメーjingグロブの創製とその応用
新規	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学) /共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
新規	京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開

◆ 特別研究助成 (1件 250万円×4件 = 計 1,000万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
2年目 第1位	大阪大学大学院医学系研究科神経遺伝子学	宮崎 雄	神経変性疾患のRAN病態に基づく新規治療標的の探索
2年目 第2位	滋賀医科大学 神経難病研究センター	森 雅樹	小児脳難病の病態解析によって発見された若年脳遺伝子を用いた遺伝子治療の実現
新規 第1位	神戸薬科大学	上田 昌史	環骨格子モデリング戦略に基づく多環式ヘテロ環の創製
新規 第2位	京都大学大学院薬学研究科	小林 祐輔	アミドの分子変換を基盤とした医薬品シーズの創製

以上

公益財団法人 蓬庵社 XXX 年度研究助成申請書作成チェックシート

選出条件【必須】

満たされているかご確認ください。

● シオノギ製品を用いた臨床研究を含まない研究であること	<input type="checkbox"/>
● 候補者の年齢は満 55 歳以下であること	<input type="checkbox"/>

選出条件

以下について、いずれかの内容が記載されているかご確認ください。

※いずれかの項目に該当するものが一つでもあれば、対応する(1)～(3)のチェック欄にチェックを入れてください

(1) 優秀な素質を有するが、財源不足のため研究の継続が困難である研究者		<input type="checkbox"/>
1	候補者の学歴及び職歴が助成対象として相応しいか。	
2	最近 5 年間の発表論文リストの内容が助成対象として相応しいか。	
3	本研究を実施するために使用する研究施設・設備等、現在の研究環境の状況に不足が生じているか。	
(2) 他からの助成が受けにくい薬学等の基礎研究を行っている研究者		<input type="checkbox"/>
1	本研究は独立したテーマであり、助成の必要性・妥当性に問題ないか。	
2	本研究の全体構想及び研究目的について、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述されているか。 ① 研究の学術的背景と現在の状況および、今後期待される成果 ② 研究期間内に何をどこまで明らかにするのか	
(3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者		<input type="checkbox"/>
1	候補者の年齢が特に若手の満 45 歳以下である。	
2	選出委員からみた候補者の研究遂行能力の高さ、研究分野で十分大きな役割を果たすと期待する理由の記述があるか。	
(4) その他 上記以外で当財団の目的に適った研究者・テーマである場合は、理由をお書きください		

推薦者は候補者と直接的な利害関係となる事実はありません。

推薦者：

第 38 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時: 令和元年 7 月 16 日(火)13 時 00 分から 17 時 25 分

場 所: 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム

(大阪府豊中市二葉町 3 丁目 1 番 1 号)

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演 題 (講演 25 分、討論 10 分)座 長

13:05-13:40 1. 天然薬物を素材とした含硫黄・含窒素成分の探索

中村 誠宏 先生

(京都薬科大学 生薬学分野)

小林 資正 先生

13:40-14:15 2. 神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による
神経変性のメカニズム

安藤 香奈絵 先生

(首都大学東京 理学部 生命科学科)

桐野 豊 先生

14:15-14:50 3. 糖尿病病態因子による幹細胞機能障害の同定

今村 武史 先生

(鳥取大学医学部 病態解析医学講座
薬理学・薬物療法学分野)

宮崎 瑞夫 先生

14:50-15:25 4. 《特別研究助成》

統合的戦略に基づく新規 PPI 阻害剤の創製

古徳 直之 先生

(立命館大学薬学部 生命薬化学研究室)

塩野義製薬(株)
釘宮 啓 氏

15:25-15:40

休 憩

15:40-16:15 5. グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用

矢倉 隆之 先生

(富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学))

北 泰行 先生

16:15-16:50 6. 強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発

矢内 光 先生

(東京薬科大学 薬学部)

大和田 智彦 先生

16:50-17:25 7. 《特別研究助成》

低分子・中分子創薬を加速する革新的骨格構築法の開発と応用

大野 浩章 先生

(京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野)

塩野義製薬(株)
井埜 章 氏

以 上

前記のとおりご報告いたします。

令和2年6月

公益財団法人 篷 庵 社

理事長 武 田 禮 二

附属明細書

平成 31 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 6 月

公益財団法人篷庵社